

## 討論メモ

### 「金正恩朝鮮労働党総書記の訪露の意味するもの」

令和 5年 10月 17日

森田晃司

1. 10月は、頭書のテーマを取り上げました。先月、金総書記は四年ぶりとなる外国訪問先にロシアを選び、プーチン大統領とも懇談しました。

ウクライナをめぐる米露が激しく対立する中での、ロシア訪問が何を意味するのか、考えてみました。

初めに森田から北朝鮮を取り巻く国際情勢について説明がありました。

#### ① 北朝鮮の存在意義

アジアの最貧国と言われる北朝鮮がなぜ核開発を続け、存在意義を誇示できるのか、

米国はじめ周辺国とはどんな関係にあるのか、

今回の訪露は、米国と距離を置き、ロシアに接近するという北朝鮮外交の本質的な変更を意味するのか。

#### ② 北朝鮮を取り巻く国際情勢はどう変化しているのか

欧米の衰退、不安定な中国、ウクライナ戦争でも揺るがぬロシアの体制、中東和平を目指す動きとそれを阻止する勢力の抗争、

そして Hamas・イスラエル戦闘の勃発、

欧米の意のままにならぬグローバルサウスの台頭

など世界の潮流は大きく変化しているように見える。

### ③ グローバリズムとナショナリズムの戦い

二百年続いてきた両者の戦いは新しい段階に入っているのか、

グローバリズムが優勢だった潮目は変わるのか、

それとも、巨大な金融勢力をバックに持つグローバリズムが押し切るのか、

両者の戦いは熾烈になっている。

2. 次いで、出席者8名による様々な角度からの意見交換を行い、下記のような意見が出されました。

・北朝鮮はミサイル完成を目指して、ロシアからの部品調達も含めて技術援助を求めたのではないか。

・中国にとって朝露の軍事提携は極めて危険で、座視できないはず。

・金総書記は中国や米国の反発を覚悟したうえで、訪露に踏み切ったのではないか。

・ウクライナやガザ地区でも戦闘が始まり、国際情勢は大きく変化している。欧米の衰退が顕著だが、この訪露は朝鮮が欧米から距離を置くという根本的な変

化なのか、それとも日を見外交の延長か、見極めていく必要がある。

- ・ハマスのイスラエル奇襲で、米国空母が二隻中東に移動した。影響は大きい。

- ・空母も以前ほど絶対的な威力はない。威嚇の色彩が強い。

- ・英仏が第一次、第二次大戦を通じて中東のオスマントルコを倒してから中東の分断と混乱が続いている。

- ・オスマントルコの時代は、内部にいさかいはあったにせよ、中東全域が収まっていた。

- ・欧米は中東を分割し、対立させ、弱体化して支配してきた。中東諸国もようやくこれに気付き、抗争から和平への道を歩みだしたように見える。

- ・サウジのムハンマド皇太子が和平に熱心に見える。

- ・サウジの動きがカギになる。

- ・イスラエルは、宣言通り、ハマスを殲滅作戦を実行するのだろうか？

- ・殲滅作戦は一般住民を巻き込み、非人道的との非難が高まるので、イスラエル政権がもたないのではないか。

- ・イスラエルは挙国一致内閣を作った。国際世論の非難を覚悟して殲滅に乗り出す決意だろう。

- ・ハマスは一般住民に紛れ込む作戦をとるので、殲滅は容易ではない。

・ハマスはテロ組織、アラブ諸国の中にも密かにハマスを殲滅を願っている国もあるのではないか。

・中東全体が和平に向かおうとする矢先に、ハマスの奇襲はそれに反対する勢力の最後のあがきか？ 第三次大戦に繋がらないように願う。

・バイデン大統領がイスラエルを訪問するそうだが、どんな成果を期しているのか？

・パレスチナ混乱のものはクリミヤ戦争だ。

・中国の高齢化が急速に進んでいる。

・年金が払えなくなっている。

・中韓の高齢化は日本よりもはるかに急速だ。

・米国の治安の悪化はひどいようだ。サンフランシスコなど大都市がひどいが、郊外では問題のない地域も多く、地域格差が大きいようだ。

・大学の費用も年間7万ドルを超える例などがあり、異常だ。

・メキシコ国境からの中南米人の大量流入も問題が大きくなっている。バイデンはトランプ政策に倣って国境に壁を作ると言い出している。

・難民には麻薬中毒も多く、米国にアヘンが広まっている。

・ 難民の子供を利用した人身売買も増加しているようだ。

・ 西アフリカのニジェールやブルキナファソでは”民主主義“に対する反発が広がっている。

・ 選挙では碌な指導者が当選しない。軍事クーデターの方が良い指導者が出てくる。といった論説が広まっているようだ。

・ 欧米での言論統制も強まっている。

・ 日本でも文春の雑誌「マルコポーロ」がユダヤの圧力団体 ADL によって廃刊に追い込まれた例がある。

・ 人間の知識は増えたが、賢くはなっていない。

・ エリートの教育を見直さないとよい世の中にならない。

・ せっかく人間が積み上げてきた文化、伝統、価値観を金の力で壊そうとする勢力がある。

・ 金への執着が人間社会を悪くしている。

・ しかし、衣食足りて礼節を知るので最低限の金は必要だ。

- ・エマニュエル米国大使は日本の内閣人事まで指図している。
- ・岸田内閣は何をしているのか。非常に残念だ。
- ・ロシアが北海道を攻めてくる可能性もある。日本人は日本を守る心構えが必要だ。

以上